

急性心筋炎を「存じ」ですか

元気な人が最初はかぜのような症状で数日経過し、突然心不全症状を呈して、最悪のケースは死亡するといったことがまれにありま

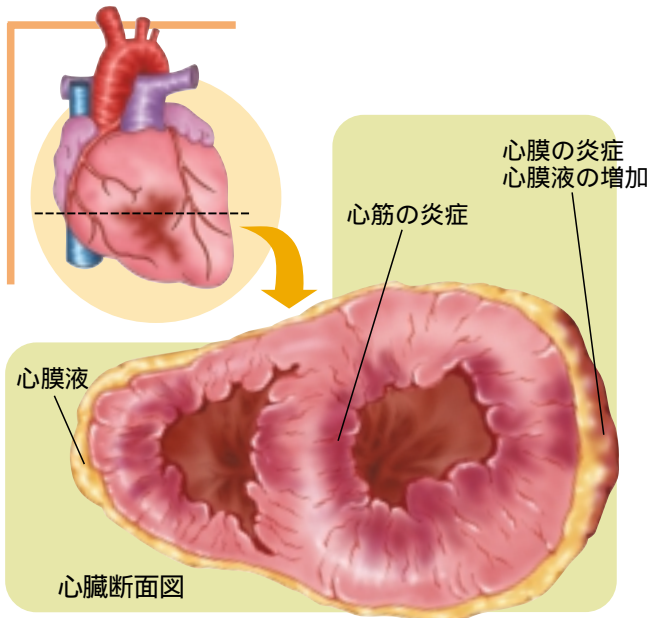
す。そうした突然死の原因の一つに急性心筋炎があります。

急性心筋炎は、心臓を動かしている筋肉（心筋）にウイルスが感染して炎症を起す病気です。代表的な病像は、かぜ様症状、心不全、不整脈、シヨック症状ですが、かぜ症状から進展するものは発見しづらく対

処が遅れることもありま

す。心筋炎の中には死に至るほど急激な病状変化を示すものがあり、「劇症型心筋炎」と呼ばれています。

心筋炎の発症頻度は定かではありませんが、人口十万人に対して百十五人という研究データがあります。そのうちのどれくらいが劇症型心筋炎へ移行するかは今のところわかっていません。もう一つの病気として急性心膜炎があります。心膜炎は、心臓を包んでいる心膜に炎症が起る病気です。心膜は一枚あり、その間に少量の心膜液があり、心臓の機能的な動きを助けたり、炎症を防ぐなどの機能をもっています。心膜炎になると、胸痛が起るとともに心膜液が増加して心臓の動きに障害を与えます。急性心膜炎と心筋炎が合併することもあります。



急性心筋炎、心膜炎の原因となるウイルスはかぜなどの病因ウイルスと同じことが多く、最初は喉の痛み、咳、発熱、筋肉痛、全身倦怠感、胃のむかつきなど消化器症状がみられます。急性心筋炎の症状は無症状のものから炎症症状、心不全症状を伴うものまでさまざま

です。炎症によって壊される

病因ウイルスはかぜウイルスと同じ

急性心筋炎、心膜炎の場合、かぜ症状から一転して手足が冷たくなるとか、言いつのない体のだるさに襲われるとか、不整脈が現れ、極端な例では失神するとか、呼吸困難に陥るといった急性心不全病状へと変化します。

かぜでも胸に異常を感じたら早期に受診

「かぜは万病のもと」とよく言ったものです。かぜ症状を軽く考えてはいけません。頭の片隅にまれであつても急性心筋炎、心膜炎といった病気があることを勧めます。

心肺補助循環装置 PCCPS による救命率

急性心筋炎の検査は、必要があります。

日本心臓財団より

日本心臓財団は、わが国三大死因のうちの心臓病と脳卒中の抑制を目指して、一九七一年に発足いたしました。

当財団は、研究に対する助成や予防啓発、また世界心臓連合加盟団体としての諸活動を通して、心臓血管病の予防・制圧に努めております。当財団は皆様のご寄付により運営されています。どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

財団法人日本心臓財団
〒一五五 東京都千代田区丸の内三三四一 新國際ビル
☎ 三三三一一一 八
ホームページ・アドレス <http://www.jhf.or.jp/>